

ARIB 次世代デジタル FPU 検討 TG における検討の状況

ARIB 素材伝送開発部会傘下の地上無線素材伝送作業班に次世代デジタル FPU 検討 TG があり、そこでは、2012 年 7 月より次世代デジタル FPU のユースケース、要求条件の整理を行っております。

2015 年 4 月 6 日に開催された第 5 回 次世代デジタル FPU 検討 TG において、TG 構成員のうち、複数の放送事業者から SHV 伝送の必要性が提案されております。以下は、当 TG において提案された SHV 伝送のユースケースです。

- ・ SHV 用 FPU については、現行の B, C, D, E, F バンドの FPU に対してさらなる多値化を行い、偏波 MIMO を使用したものが想定されます。(要旨)
- ・ 伝送容量の大容量化
4 K や 8 K といった高解像度映像の伝送などが期待できる。(要旨)
- ・ 4 K ・ 8 K の超高精細度映像伝送を念頭に、F P U の高ビットレート化検討
使用帯域・変調方式・コーデックを含め、検討が必要と思われる。
- ・ 伝送容量の高容量化 (4K/8K 対応)
- ・ **【期待する機能】**
伝送：4 K (複数チャンネル)、8 K

以上